

令和8年度 定時総会

令和8年六月四日(木)、定時総会が開催され、議案事項は全て承認されました。

令和8年度定時総会挨拶



理事長
竹野 成記

竹野理事長は、総会の開会にあたり、会員並びにご来賓に総会への出席と平素のご支援に謝意を表し、次のように挨拶しました。

令和7年度の総括

昨年度は、円安や物価高騰など社会情勢が不安定な中、センターにおいても会員の高齢化、人手不足、さらにはインボイス制度やフリーランス新法への対応など、運営環境は一段と厳しさを増した一年でありました。しかしながら、会員の皆様、そして役職員が一体となって事業に取り組んだ結果、契約金額951百万円、就業率90.6%と、2項目において目標を達成することができました。

会員数は1,334人と目標には届きませんでした。3年連続の増加となり、着実な回復基調が

見られたことは大きな成果であります。入会説明会の充実、広報活動の強化、ハローワークとの連携など、地道な取り組みが実を結びつつあると感じております。

課題への認識

一方で、事故件数は38件と依然として高止まりしており、特に刈払機による飛び石事故や転倒・打撲など、少しの注意で防げるものも多く、改めて安全意識の徹底が必要であると感じております。また、会員の平均年齢は75.6歳となり、健康面への配慮や無理のない就業体制の構築が、これまで以上に求められています。会員の皆様が安心して活動できる環境づくりは、センターの根幹を支える重要な取り組みと捉え、今後とも一層努力してまいります。

令和8年度の事業方針

こうした状況を踏まえ、本年度は、1月に策定した8年度〜12年



度までの第6次中期計画を見据え事業展開を行います。「感謝と笑顔で地域へ貢献」という活動目標を掲げ、「会員拡大・安全就業・運営基盤の強化」を三本柱として事業を推進してまいります。

特に、会員・役員・職員がそれぞれの役割を明確にし、組織全体が同じ方向を向いて取り組む体制づくりを進めて行きます。入会促進、女性会員の活躍支援、安全教育の強化、さらにはデジタル化への対応など、課題は多岐にわたりますが、一つひとつ着実に取り組み、確かな成果につなげてまいります。

結びに

冒頭にも述べましたが、世界では依然として不安定な情勢が続く、国内では物価高、労働力不

足、制度改革が同時進行しています。このように、時代が大きく変化する今、シルバー世代の豊かな経験と知識は、地域社会にとつて欠かすことのできない力であります。皆様が誇りを持って、いきいきと活動していただける環境づくりに、センターとして引き続き全力で取り組んでまいります。今後とも皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、本日出席の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、私の開会にあつたの挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

